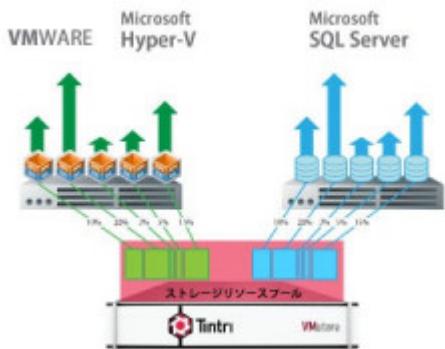


Tintri、データベース単位で可視化・自動制御可能な業界初ストレージソリューション「SQL Integrated Storage」を提供開始



チューニング、トラブルシューティングなどの運用管理負荷を最大95%削減
ミリ秒以下の性能を自動保証

株式会社データダイレクト・ネットワークス・ジャパンTintri
事業部（所在地：東京都千代田区、代表取締役 ロベルト・トリンドル）は、仮想 /
物理環境のMicrosoft SQL
Serverデータベースに対して、可視化、自動化、制御を提供する革新的なストレージテクノロジー「Tintri SQL Integrated Storage」を、[本日8月5日](#)
より販売開始します。Tintriのストレージアプライアンス製品のソフトウェアオプションとして
提供します。

Tintri SQL Integrated Storage

Storageは、仮想化環境における複数のVMを個別に管理する独自のアプローチ（VM-aware）でストレージ管理をリードしてきた「Tintri VMstore™」のアーキテクチャをデータベースに展開（DB-aware）したもので、ストレージの稼働状況を個々のデータベースごとに可視化して自動制御可能にする業界初のソリューションです。

データベースのストレージのチューニングは手間や工数、データベースに対する知識や経験が求められますが、Tintri SQL Integrated

Storageが提供するデータベース連携機能により、ストレージ上で多数のデータベースを運用する場合でもデータベースごとにダイナミックに自動的に最適化されます。

ストレージの専門知識がないデータベース管理者でも利用可能で、データベース管理者とインフラ管理者がインサイトを共有することで、運用管理を効率化、最適化することができます。

Tintri SQL Integrated Storageは、SQL

Server全体を可視化し、データベース単位で、レイテンシ、IOPs、スループット、領域使用量などの情報とインサイトをリアルタイムに提供します。

Tintri SQL Integrated Storage

Storageは、時間を要するチューニング、トラブルシューティング、および分析などのストレージ運用のオーバーヘッドを最大95%削減できます。最大数千のSQL Serverデータベースの管理が可能で、従来のストレージソリューションの非効率性を排除し、コ

ストを削減します。

また、自動QoS (Quality of Service) により、SQL

Serverデータベースごとにリソースを動的に調整して自動的に性能が最適化され、サービスレベルも大幅に向上します。これは、通常はデータベースのサービスレベルに影響を与えるデータ保護プロセスやクローン作成プロセスにおいても同様です。

さらに、データベースのホットスポットをリアルタイムで分析し、ユーザーに影響を与える前にピンポイントで特定します。

IDCのInfrastructure Systems, Platforms and Technologies

Groupでリサーチバイスプレジデントを務めるエリック・バージェナー氏はこのように述べています。

「データベースストレージの管理はデータベース管理者にとってもストレージ管理者にとっても、まさに課題となっています。その主な理由は、ストレージ側の可視性が欠けているためです。最適な効率性を得るためにストレージ運用を個々のデータベースレベルで制御する必要がありますが、エンタープライズ向けのストレージプラットフォームでそのようなレベルの可視性を提供するものはありません。SQL Integrated

Storageは、効率的で細かい仮想マシンレベルのストレージ管理を提供するという、Tintriの伝統が受け継がれていて、Microsoft SQL

Serverのデータベースにも同様の望ましい機能を提供しています。この機能によって運用効率が大幅に高まります」

TintriのCTO兼製品責任者を務めるトマー・ハガイは次のように述べています。

「一般的にはDB管理とインフラストラクチャ管理者はそれぞれの視点でストレージを管理しています。各チームがインサイトを共有し理解していないと、オーバーヘッドが増え、効率の低下につながります。ストレージは、性能、可用性、容量を提供するだけでは不十分です。Tintri SQL Integrated

Storageでは、データベースレベルのインサイト、リアルタイムのテレメトリ、そして機械学習を組み合わせることで、ストレージ処理を自律的に最適化し管理するインテリジェント・インフラストラクチャを提供すると同時に、DB管理者にセルフサービスと制御を提供します」

◆ SQL Integrated Storageの提供について

◇ 提供開始：[2020年8月5日](#)

Tintriおよび販売パートナーを通じて提供します。

◇ 提供方法

SQL Integrated Storage は、Tintri VMstoreのオプションソフトウェアである「Tintri Global Center (TGC) アドバンスドライセンス」または「Tintri VMstore Software Suite」によってライセンスされます。

対象製品を既にご利用いただいているお客様は、ソフトウェアアップグレードとしても入手していただけます。

◇ 製品の要件とサポート範囲

- MS-SQL Server 2016以降
- Windows Server 2016以降
- Tintri VMstore Tintri OS 4.6以上
- Tintri Global Center(TGC) 5 以上

※製品の詳細については以下をご参照ください。

<https://tintri.co.jp/SQL>

◆ SQL Integrated Storage機能概要

Tintri SQL Integrated Storage

Storageは、仮想化環境における複数のVMを個別に管理する独自のアプローチ（VM-aware）でストレージ管理をリードしてきた「Tintri VMstoreTM」のアーキテクチャをデータベースに展開（DB-aware）したもので、ストレージの稼働状況を個々のデータベースごとに可視化して自動制御可能にする業界初のソリューションです。

◇SQL Serverのインフラストラクチャ全体を可視性し、問題の解決を迅速化

SQL Serverのインフラストラクチャ全体を見渡せるエンドツーエンドの可視性と、必要なアクションに直結するインサイトが1つの管理画面で提供され、性能および容量のきめ細かい指標とビジュアル化を提供します。指標には、データベースごとのレイテンシ、IOPs、スループット、領域使用量などがあります。データベースのインベントリをリアルタイムで識別して、問題の解決を迅速化できます。

◇データベース毎の自動QoS(Quality of Service)による安定した性能

各データベースのI/Oおよび他のワークロードからも分離されるため、予測可能なI/O性能と一貫したユーザー エクスペリエンスが保証されます。I/O要件の変化に応じてリソースを動的に調整し、データベースごとにミリ秒以下のレイテンシを維持します。本番データベースのクローン作成を高速かつ無停止で行うことができ、メンテナンスやレポート処理による性能への影響が軽減されます。

◇SQL Server環境のリアルタイム分析と将来予測

機械学習と3年間の履歴データを活用して、将来の容量と性能の要件を最長18か月先まで正確に予測します。洗練された「what-if」分析とシナリオを利用して、SQL Serverを追加した際の性能と容量に与える影響を通知し、リソースのプロビジョニングの過不足を回避します。

◇データベース毎の手間をかけない保護とリカバリ

個々のデータベースまたはデータベースのグループについて、ポリシーベースの柔軟なスナップショットを提供し、データ保護を簡素化します。無停止のインスタント・スナップショットは、本番データベースやユーザーに性能の影響を与えません。データベースを数秒以内に個別にリカバリすることもできます。

◇DB管理者のストレージ管理のセルフサービスを強化

自律的な運用と、データベースレベルの簡素化された管理により、ストレージについての詳しい専門知識がなくても、DB管理者自身がストレージ管理や機能を利用でき、運用効率が向上します。

◇開発スピードアップするデータベース毎のインスタント・クローン

データベースレベルのインスタント・クローンは、性能への影響が全くななく、作成時に容量を消

費しないため、開発サイクルを加速させます。データベースを数秒で更新することができ、テストサイクルをスピードアップします。開発者がそれぞれ専用のデータベースのサンドボックスを使用できるようになり、より生産的な同時進行の開発ワークフローが可能になります。

■Tintriについて

<https://tintri.co.jp/>

Tintriは、世界最大級のストレージ・カンパニーであるデータダイレクト・ネットワークス（DDN）の完全子会社です。日本においては、株式会社データダイレクト・ネットワークス・ジャパンのTintri事業部として、Tintri製品の販売・サポートを提供しています。

Tintriはエンタープライズデータセンターの分野で比類ない独自のソリューションを提供します。Tintriのインテリジェント・インフラストラクチャは、仮想化やデータベースと密に連携した自律管理、機械学習やAI技術を活用し自動化を推進します。分析で得られるインサイトは、運用を簡素化、迅速化し、ビジネスを支援します。何千社ものお客様がTintriを採用し、数百万時間ものシステムの管理時間の削減を達成しています。

■DDNファミリーについて

<https://ddn.co.jp/>

DDN (DataDirect

Networks) は、世界最大規模のプライベートストレージ企業です。DDNは、マルチクラウド環境での柔軟なシステム導入を実現するデータ管理ソリューションに関して、使いやすさ、堅牢性、スケーラビリティの向上を図っています。また、テクノロジー面でのブランドであるDDNファミリーは、顧客が分散して配置している複雑な形式のデータから、インサイトを迅速に引き出し、最大限の価値を生み出します。DDNの製品およびサービスは、最近急増しているAI、IoT、マルチクラウド、ビッグデータ、ストリーミングなど負荷の高いさまざまなワークロードを大規模環境で実行する際の理想的な選択肢です。DDNは20年以上の時間をかけて、データマネージメントプロバイダーとしての地位を確立し、5000を超える大企業、政府機関、公共機関の顧客から選ばれる存在となりました。株式会社データダイレクト・ネットワークス・ジャパンは DDN の日本法人・100%子会社です。

Generated by ぶれりりプレスリリース

<https://www.prerele.com>